

こくりにゆうだよ



11月号

大阪府立桜塚高等学校 2年 田中 千怜
「秋のイメージを詰め込みました。」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。

聴いてなっく！まるわかりセミナー
～私の力でつくろう！
多文化共生のまち豊中～

11月11日(土) 14:00～15:30

当協会の取り組みなどを通して、市民とともにすすめる多文化共生の可能性についてお話します。

定員：30人(申込先着順)

講師：山野上隆史(協会常務理事兼事務局長)

参加費：無料

申込：メール・電話・来館にて受付

とよなか国際交流フェスタ

12月2日(土) 10:00～15:00

とよなか国際交流センターの登録グループによる活動発表やポスター展示、子どもの民族衣装体験やバルーンアート、世界の食べ物や飲み物販売など。

会場：とよなか国際交流センター

申込：不要



【報告】8/26（土） 世界のミカタ を開催しました！

「世界の『ミカタ』」は体験型の国際理解プログラムです。今回は庄内コラボセンター内の豊中市市民公益活動支援センターにて中国出身のワン シャオジュンさんとエクアドル出身のサンティアゴさんのお二人を講師にお迎えしました。

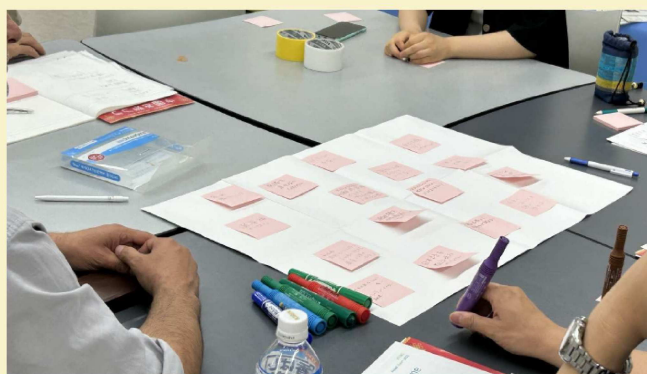
最初に講師の自己紹介。その後は講師が進行役となり「外国人にとって、日本は便利？不便？」をテーマとしたワークショップを行いました。参加した14名が「便利と思う」と「不便と思う」グループに分かれ、各自の考えを付箋に書いてグループ内で意見交換。その後、各グループで作業したものを別のグループにも見せながら話し合いました。今まで自分が当たり前だと思っていたことが、外国ではそうではないことがわかり、意見交換は大変盛り上がりました。講師の体験談もあり、様々な価値観を持つ人々がいかにして共に暮らしていくのかヒントをもらったような会でした。

そして、8/1～8/31の期間、庄内コラボセンター内の庄内図書館と連携して「エクアドル・中国&とよなか国際交流協会コーナー」を図書館内に設置し、民族衣装や遊び道具、エクアドルや中国を深く知るための資料や書籍を展示しました（ページ下部参照）。初めての試みでしたが、ご好評をいただきました。

また、センターと協会は今年度30周年で様々な企画を予定しています。連続セミナー3回目(2024年3月3日)は、豊中市在住の外国にルーツを持つ市民のみなさんとの対話やグループワークを通して多文化共生を考える企画もあります。是非ご参加ください。（協会職員・大庭みゆき）



講師のワンさん(左)とサンティアゴさん(右)



グループワークの様子

【報告】ショコラ（庄内コラボセンター）でこんなこともやっています！

2023年2月にグランドオープンした庄内コラボセンター（愛称：ショコラ）。図書館や子育て支援センターなどの南部地域の施設を入ったこの施設では協会主催の「庄内にほんご」、庄内図書館と共催の「おやこでにほんご」も定期的で開催しています。

ショコラに集う皆さんにもセンター及び協会の存在を広く知ってもらうため、8月は上記の「世界の『ミカタ』」に合わせて庄内図書館内に展示スペースを設け、世界の民族衣装や多言語の書籍の紹介を行いました。

また、当協会は「しょうないREK（※）」のメンバーとして、定期的に1階カフェスペースにて『世界とつながるしょうないカフェ ATOMS REK CAFE』をオープンしています。毎月、数量限定メニューとして、韓国の美酢（ミチヨ）を使ったドリンクや、ネパールやスリランカのチャイを販売しています。

ショコラが豊中市の多文化共生の新たな拠点になることを目指して、今後も様々な取り組みを展開していきます！

（協会職員・三木幸美）



※…豊中市の協働事業制度に基づき、REKカフェの運営や図書館から出た廃棄本のリサイクル販売をしています。

2018年2月号に最終回を迎えた連載「なんじゃ・カンジャ・言わせてもらえば」の執筆者、皇甫康子さんのコラムです。

皇甫さんの想いとメッセージがイモヂョモ（あれこれ）詰まったコラムをどうぞ。

「さんねん峠でころぶでないぞ、さんねん峠でころんだならば、さんねんきりしか生きられぬ」小学校3年生の国語の教科書に掲載されている朝鮮の民話「さんねん峠」のお話をもとに、たくさんの学校で朝鮮文化を伝える授業をしている。どことなくひょうきんで美しい挿絵は何度見てもあきることがない。文も絵も「在日」女性の作家だということに気づいたのは昨年（2022年）、10月に同志社大学で開催された、原画展と講演会に参加したときだった。

今年（2023年）、9月23日、大阪生野区の「いくPA（いくのパークの略称）」図書館～ふくろうの森～で挿絵作者の朴民宜^{バクミン}さんの作品展とお話を聞く会が開催された。1981年初版の「さんねん峠」をはじめ「あおがえる」や「りんごのおくりもの」「へらない稲たば」などの素敵な原画に囲まれ、お話を聞くことができた。

朴民宜さんが絵本を書くようになったきっかけは、これからどんな絵を描くのか、悩んでいたときに、世界絵本原画展を偶然みて、こんな世界があるのかと衝撃を受けたことだった。

『小さな絵本の中に全てのものが入っている。大きな絵に負けない力がある。日本も絵本ブームだったが、韓国や朝鮮の絵本は少なかった。その頃、韓国は独裁政権で絵本が出版できず、海賊版がたくさんあった。共和国のほうも余裕がなかった。だからこそ、日本で絵本を書く意味があると思った。

知人にお願ひし、『さんねん峠』の作者・李錦玉^{リクムオク}さんに引き合わせてもらった。岩波書店の編集者が絵を見て、「いいですね」と言ってくれたので、救われた。6か月間、ほめられ、はげまされ「さんねん峠」が出来上がった。当時は資料が全くなかったので、昔の衣装や道具もさがせなかった。銀座の韓国専門店の通ったり、オンドル（温床）を研究していた人から、水原（スウォン）の民俗村の写真をを見せてもらったりした。母方の祖父母が絵のモデルになってくれた。棒で叩く洗濯のようすやキセルを使っていた祖父を描いた。朝鮮の民話なので、昔の生活用具を描こうと努力した。1992年から光村図書出版の教科書に掲載され、その翌年から授業などで、呼ばれるようになった。子どもたちから「さんねん峠はどこにあるのか」「ころんだだけでなぜ死ぬのか」という質問がよくあった。「ちょうせん」と聞くと、ドキッとする日本の公立学校に通う子どもたちからは、とても美しい国だと思ったと言われ、すごくうれしかった。鶴見区の小学校で話をすると、本名で通いたいという子どもが出てきた。その時、自分がやっていることの意味を感じた。絵本を作って良かったなと思った。

大阪市外国人教育研究協議会の「サラム」の挿絵を描くきっかけは熱心な日本人教員からの依頼だった。教材を作る過程で気が付かないところをたくさん指摘してもらった。

教科書は今後また、4年間の掲載が延長された。教科書に朝鮮の民話が掲載されることの大切さを実感している。』

今頃、朴民宜さんのような素晴らしい先輩がいることに気づいたのだが、いつも彼女の絵が朝鮮人としての自尊心を高めてくれた。それは私だけでなく、数えきれないほどの子どもたちを励まし、明日への生きる力となった。

これからも、宝物のような朴民宜さんの作品を大切に伝えていきたい。

今後のイベント情報 ※とよなが国際交流センターで開催します。

30周年記念ファッションショー 世界の民族衣装コンテスト 11月25日(土) 13:30~16:30

センターを利用する外国ルーツの方々が様々な民族衣装を披露します。コンテスト形式で開催します。

多文化ステージでは、ベトナムの音楽ライブをはじめ、フィリピン(ズンバ)、ネパール(民族ダンス)、韓国(高校生によるK-POPダンス)、中国(子どもたちの伝統的な踊り)のパフォーマンスがあります。

この取組は、相談事業に関わる多言語スタッフが、利用者と地域の人たちとの交流や、国際理解を深めるために企画しました。

お気軽にお越しください!

会場: すてっぷホール(エトレ豊中5階)

定員: 80人(要事前申込み)

参加費: 無料

申込: 電話・メール・来館にて受付

2023

11月の事業開催カレンダー

※コロナウイルス感染症対策のため、予告なく変更となる場合があります。
記載のない定例事業については、とよなか国際交流協会にお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
30	31	01 休館日	02 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	03 文化の日	04 たまりば 相談 おまつり地球一周クラブ 10:30~12:00	05 がちゃ 庄内 貸室抽選会
06 もっ と 相談	07 おやこ 相談 こんぱす	08 休館日	09 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	10 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	11 相談 まるわかりセミナー 14:00~15:30	12 がちゃ 母語 サンプル 庄内
13 もっ と 相談	14 おやこ 相談 こんぱす	15 休館日	16 千里 木ひる にこにこ 相談 世界を食べよう 10:30~12:30 オンライン	17 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	18 つどい 相談	19 がちゃ サンプル
20 もっ と 相談	21 おやこ 相談 こんぱす	22 休館日	23 勤労感謝の日	24 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	25 相談 民族衣装ファッションショー 13:30~16:30	26 がちゃ 母語 サンプル 庄内
27 もっ と 相談	28 おやこ 相談 こんぱす	29 休館日	30 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	01	02	03

◆赤字表記の活動については、活動内容を変更している場合があります。詳しい情報については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

センターが主催する定例事業

月曜日…	もっ と もっ と つかえるにほんご ※ひらがな・カタカナが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00~12:00 11:00~16:00
火曜日…	おやこでにほんご(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:00~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
木曜日…	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 オンライン日本語	13:30~15:20 13:30~15:30 10:00~11:30 11:00~16:00 19:00~20:00
金曜日…	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:30~12:00 10:30~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
土曜日…	韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい ※毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談 若者のたまりば※第1土曜日のみ	9:30~11:30 11:00~16:00 13:30~16:00
日曜日…	にちょうがちゃがちゃだん こども母語※第2,4日曜日のみ 学習支援サンプルイス 庄内にほんご(庄内コラボセンターで実施)	10:00~12:00 10:00~12:00 13:00~15:00 13:00~15:00

今月のピックアップ

12月2日(土) とよなか国際交流フェスタ

昨年度、3年半ぶりに開催し大盛況に終わったとよなか国際交流フェスタ。

飲食販売やステージ発表に加えて、今年度は新しい全体企画も準備中！ぜひご参加ください！



※詳細は表紙ページ下部のイベント欄をご覧ください。

とよなか国際交流センターおしらせ

「こくりゅうだより」第175号(2023年11月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会

住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)

開館時間:9:00~21:30(水曜休館)

TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375

E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

